

2 3 4 5 6 7 8 9 30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 40 1 2 3 4 5 6 7 8 9 50 1 2 3 4 5 6

廣東人康有為、紳士李海先生、三千人

時事新報

明治三十一年九月二十四日 (土曜日)

左記一項禁轉載(但し本紙より轉載の旨を明記し、する者は差支なし)

○清國皇帝陛下崩御の飛報

西太后復権は之が爲めか
一昨二十一日新に上諭を發して
西太后再び萬機を攝行する事となれり

引續き皇帝陛下崩御の電報北京より當地に達したり

當地道臺は賞を懸けて皇帝弒逆の大罪嫌疑者康有爲の逮捕方を布令せり

○清帝崩御の飛報に就て
清國皇帝崩御にして諸般の弊政を改革するに銳意なりとは近來盛に内外諸新聞紙の傳説する所にして其實蹟亦觀る可き者なしとせざるより世間之に屬望する者多きと同時に前後を顧慮して帝に聖壽の無疆を氣遣ふ者もありしに昨日横濱邊に於ては不祥の説をなす者あり引續き本社には北京特電の西太后復権を報じ

來るあり(本朝の本紙掲載)其間多少の疑を狭む可き餘地なきに非ざれども眞迹に斯かる可しと思ひ設けざりしが昨夜深更上海より達したる特電は別項の如く愈々皇帝の崩御を報じ越せ去るにても之に關して北京特電の未だ來らざるは何故ぞ例の如く支那線故障の爲め延引せるか北京にては深く喪を秘して未だ發せざるか抑も上海特電の未だ固く信するに足らざるか兎に角本社は此報に接したるに付取敢ず號外を發して之を讀者に頒つ事とせり此報愈々眞ならば直接には清廷權力の移轉、間接には英露勢力の消長等其影響決して尠少なからざる可

左記四項禁轉載(但し本紙發行翌日以後の紙上に轉載するは差支なし)

○キツチ子ルの榮譽

倫敦九月廿三日ロイテル發
英埃軍司令官キツチ子ル氏は勳功に依り華族に列せられ二萬五千鎊を賜はる

○英國首相の歸國

同 上
ソールズベリー侯はロンドンに歸り來れり

○クリート鳴事件

同 上
獨逸及び地地利はクリート鳴事件を處分する相談に與るゝことを謝絶せり然し決して土耳其皇帝を援助する如きことを爲さざるべしと約束し他の強國は盡く其處分方法に同意せり早速土耳其の將校及び軍隊を同島より退去せしむることは其第一着たるべし

○ドレーフス事件

同 上
中佐ヒカー氏は在巴里獨逸公使館附陸軍少佐エステルヘロー氏宛てたる書翰を偽作し同氏をしてドレーフス再審事件の卷添へを食はしめんとしたりとの嫌疑を以て陸軍當局者の手に拘引せられ之が爲め巴里市中騒然たり

發行兼編輯人 光吉英次郎 印刷人 金子千十郎
發行所 東京市京橋區南橋町二丁目十二番地 時事新報社
總發行所 東京市京橋區南橋町二丁目 日の出屋新聞社

早稲田大学図書館
文書27
D 47



明治二十五年三月十一日(通信省認可)
 明治三十一年十月四日(火曜日)
 第五千三百四十一號

電報

左記六項禁掲載(但本紙發行翌日以後の紙)
 (時事新報倫敦特電)

○和媾會議の開會
 倫敦十月三日ロイテル發
 米西媾和會議は愈々土曜日(一日)を以て巴里に開會されたり
 會議の模様は全く秘密あり

○米國の海軍豫算
 同上
 來年度の米國海軍豫算は四千七百萬弗にして實に未曾有の巨額あり

○無政府黨制壓會議
 同上
 列強國は無政府主義を抑壓するよきにつき會議を催さんとす伊太利の獨逸に應じたり

○デモクラット黨と銀問題
 紐育州(シラキエーズ)に大會を催したる事は前號の電報に見ゆのみならずニュー・ヨーク、コンチネンタルのデモクラット大會も亦銀問題を放棄するよきに決せり

○佛國とスーダン問題
 佛國政府は中央阿非利加に於けるマルシャン大尉より報告の達するを待たず互にフアン・ヨダ問題に關する商議を開くよきに同意せり

○清帝自殺別報
 上海に於て公にされたる報知に據れば清國皇帝は九月二十一日を以て自殺を遂けたりと云ふ左れども實際には之を弑害されたるものと信じ居れり

○清國武官の本邦派遣
 北京十月二日午後六時特派員發
 日本の大演習を觀覽の爲め武官十數名を選抜派遣するに決せり

十月二十日到着

時事新報附録

明治二十五年三月十一日(通信省認可)
 明治三十一年十月四日(火曜日)
 第五千三百四十一號

電報

左記六項禁掲載(但本紙發行翌日以後の紙)
 (時事新報倫敦特電)

○和媾會議の開會

倫敦十月三日ロイテル發
 米西媾和會議は愈々土曜日(一日)を以て巴里に開會されたり
 會議の模様は全く秘密あり

○米國の海軍豫算

同上
 來年度の米國海軍豫算は四千七百萬弗にして實に未曾有の巨額あり

○無政府黨制壓會議

同上
 列強國は無政府主義を抑壓するよきにつき會議を催さんとす伊太利の獨逸に應じたり

○デモクラット黨と銀問題

紐育州(シラキエーズ)に大會を催したる事は前號の電報に見ゆのみならずニュー・ヨーク、コンチネンタルのデモクラット大會も亦銀問題を放棄するよきに決せり

○佛國とスーダン問題

佛國政府は中央阿非利加に於けるマルシャン大尉より報告の達するを待たず互にフアン・ヨダ問題に關する商議を開くよきに同意せり

○清帝自殺別報

上海に於て公にされたる報知に據れば清國皇帝は九月二十一日を以て自殺を遂けたりと云ふ左れども實際には之を弑害されたるものと信じ居れり

○清國武官の本邦派遣

北京十月二日午後六時特派員發
 日本の大演習を觀覽の爲め武官十數名を選抜派遣するに決せり

十月二十日到着

發行所 東京市京橋區南橋町二丁目十二番地 時事新報社

○無題...
○...

百萬...
○米國の...
○...

○...
○...

○...
○...

○...
○...

劫車渡洋州殺

御史 李盛鐸

壽富

楊士燮

李公使 家駒

今日已發上海
九月廿五

古田書院
仙の蔵十部

物造部

物造部

物造部

物造部

物造部

三行

張源桓、印、系卷、原書

附録に記す

○本將嘉吉、外務省

○心算帳簿、一冊、皇太后御用

○白紙、一冊、十部

○紙、一冊、十部

○ 登壇の儀は西の儀より
○ 登壇の儀は西の儀より

○ 登壇の儀は西の儀より

○ 登壇の儀は西の儀より
○ 登壇の儀は西の儀より
○ 登壇の儀は西の儀より

○ 登壇の儀は西の儀より
○ 登壇の儀は西の儀より
○ 登壇の儀は西の儀より
○ 登壇の儀は西の儀より
○ 登壇の儀は西の儀より
○ 登壇の儀は西の儀より
○ 登壇の儀は西の儀より
○ 登壇の儀は西の儀より
○ 登壇の儀は西の儀より
○ 登壇の儀は西の儀より

一 第一の者、清國の歴史

モハ必ス露國をベシ先見ニ勝ツ方
味方も當世ナリと思ヒ

其第二ハ兩國ノ指名ヲ交兩國ノ

保護ノ下ニ君臨セシメ大野心ヲ自藏

スルモノナリト論ズル一節ナリトシ

近來諸新聞ニ亦鴻章ノ親露主義

ヲ叙シ傳説モ所シト備敷クロシル所説

加チ亦極端ナリトシ以上ノ二説ヲ為出ス

鄒凌瀚

江蘇人 號殿書

蔣嘉名

江西人 號錫之

陳佑民

江西人

張大補

味蘇

李盛

榜眼

鐸

江西人

号木齋

江南主考

御史

翰林

李家駒

翰林

李富

奉科

宗室

甘肅

進士

楊士

甘肅

工部

工部員外郎

以上四位均係京師
大子卷已提調

祀先由史